

77 飲料用ペットボトルを利用した 培養植物の新しい馴化手法



Webページ

技術のポイント

試験管の中で生育する培養植物を野外で育てるには、周囲の環境に順応させるための「馴化」というプロセスが必要です。私たちは、培養植物の簡便な馴化手法として、飲料用ペットボトルを利用した「ペットボトル(PB)馴化法」を開発しました。PB馴化法の開発によって、研究施設や特別な機器等がない小笠原諸島においても、組織培養によって増やした絶滅危惧種であるオガサワラグワの効率的な馴化が可能となりました。

連携・橋渡しの方向

PB馴化法は、従来法よりも優れた手法として、小笠原村で実施されているオガサワラグワの保全事業に、実際に導入されています。新しい培養植物の馴化手法として、広く普及したいと考えています。

詳細情報

・論文等：日本森林学会誌，106，7-12（2024）

担当者

林木育種センター・遠藤圭太



図1 炭酸飲料用ペットボトルから作製した培養植物の馴化用保湿カバー(左)と水受け皿(右)



図2 PB法による培養オガサワラグワの馴化(左)と馴化後に生育した苗木(右)

■ 謝辞

本研究の一部は、環境省・(独)環境再生保全機構の環境研究総合推進費(JPMEERF20184R01)により実施しました。

森林産業実用化カタログ2025



お問合せ先

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所
社会実装推進・知財戦略室

E-mail: sangaku@ffpri.affrc.go.jp

URL: <https://www.ffpri.affrc.go.jp/sangakukan/index.html>